

## 薬包開封用自助具の製作

### 1 相談内容

リハビリテーションセンターの生活支援課職員より、入所者が食後、各自の薬を服用する際に薬包を開封する自助具を作ってもらえないかと相談がありました。現在、ティッシュペーパーの空箱で工夫して使っていますが頻繁に壊れてしまうそうです。またこの箱では衛生的にも問題があるため、洗浄・消毒ができる素材で食堂に置いて使いたいのので15個ほど作ってほしいとの依頼でした。なお薬包をはさみやすく、ズレたり動きにくいもの、底面が動かないものを希望され、プラザで製作することにしました。

### 2 利用者プロフィール

障害者支援施設(生活支援課)の入所者で30代から60代の片麻痺のある方々です。

### 3 対応

薬包を立てる部分は、アクリル板を曲げ加工して挿入しやすくし、台座の板にはめ込むようにしました。また、ネジ止めしたアクリル板で台座と薬包を立てる部分を押しさえ動かないようにし、一端にL字板を接着することで薬包のズレを防ぐことができます。これにより、片手ではさみを使って、薬包を切り服用することができます。なお汚れた場合には台座と薬包を立てる部分を外して、各々洗浄・消毒でき、衛生面に配慮しました。



薬包を立てる部分(オレンジ色がL字板)

製作した自助具15個(裏面に滑り止め貼付)

### 4 結果

職員から「食堂のテーブルに置き、ほぼ全員がこの自助具を利用させてもらっています。」と今の状況を連絡していただきました。

### 5 予算

1個：450円程度